

- 問1 ロシアの食文化を支える農業の仕組みについて、その特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 熱帯の広い農園で、コーヒーやカカオ、天然ゴムなど、輸出を目的とした特定の作物のみを栽培する。
 2. 小麦やイモ類といった主食となる穀物の生産に加え、食肉や乳製品を得るための家畜の飼育を並行して行う。
 3. 広大な土地で牛や羊を放牧し、生乳やバターなどの乳製品の加工・販売に特化して経営を行う。
 4. 夏の乾燥に強いブドウやオリーブの栽培を中心に、冬の雨を利用して小麦を栽培する。
- 問2 北欧のノルウェーに見られる、氷河によって削り取られた複雑に入り組んだ湾の名称と、その急峻な地形や豊かな水資源を活かして盛んに行われている発電形式の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. リアス海岸と水力発電
 2. フィヨルドと火力発電
 3. カルスト地形と地熱発電
 4. フィヨルドと水力発電
- 問3 EU（ヨーロッパ連合）加盟国のうち、ドイツやイタリア、スペイン、オランダといった主要国と比較して圧倒的な小麦の生産量を誇り、「ヨーロッパ最大の農業国」と呼ばれる国はどこですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. オランダ
 2. ドイツ
 3. イタリア
 4. フランス
- 問4 北ヨーロッパのスカンディナ비아半島西海岸など、高緯度地域で見られる複雑に入り組んだ湾の形成過程について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 沿岸流によって運ばれた砂が湾の入り口に堆積し、海と切り離されて形成された。
 2. 激しい火山活動によって地表が陥没した場所に、雨水や海水が溜まって形成された。
 3. 起伏の激しい山地が沈水し、V字型の谷に海水が入り込んで形成された。
 4. 氷河によって深く削り取られたU字型の谷に、海水が入り込んで形成された。
- 問5 2023年のフランスにおける輸出品目の内訳をみると、機械類が約19パーセントと最も多く、次いで自動車、医薬品、航空機などがそれぞれ約6パーセントから9パーセントを占めています。このような統計から読み取れるフランスの輸出産業の特徴として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 衣類や靴などの軽工業製品が輸出額の約8割を占めている
 2. 小麦やワインなどの農産物が輸出額の過半数を占めている
 3. 鉄鉱石や石炭などの鉱脈資源が主要な輸出品目となっている
 4. 機械類や航空機、医薬品などの工業製品が輸出の大部分を担っている
- 問6 ヨーロッパで実施されている、国境での管理をなくして人々の自由な移動を認める仕組みについて、その目的や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 共通通貨であるユーロの価値を安定させ、輸出を拡大するため
 2. 域外からの移民の流入を完全に遮断し、治安を維持するため
 3. 加盟国すべての言語を統一し、教育の格差をなくすため
 4. 国境を越える労働力の移動を容易にし、経済活動を活発にするため
- 問7 ノルウェーの西海岸に見られる、海岸線が複雑に折れ曲がり、陸地の奥深くまで細長い湾が続く地形の名称を何といいますか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. カルデラ
 2. リアス海岸
 3. フィヨルド
 4. ラグーン（潟湖）
- 問8 イタリアのローマ周辺など、地中海沿岸の地域で見られる、夏季に降水量が極端に少なく乾燥するという特徴を持つ気候区分と、その環境に適応した代表的な農作物の組み合わせとして正しいものを次の中から選びなさい。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. 西岸海洋性気候 — オリーブ
 2. 西岸海洋性気候 — パナナ
 3. 地中海性気候 — オリーブ
 4. 地中海性気候 — パナナ
- 問9 ヨーロッパ諸国の農業統計において、穀物自給率が150%を超え、年間約6700万トンの生産量に対して3700万トン以上の輸出量を記録している、ヨーロッパ最大の農業国として知られる国を選びなさい。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. ドイツ
 2. フランス
 3. イギリス
 4. イタリア
- 問10 欧州連合（EU）が加盟国間の経済的格差を是正し、地域全体のバランスの取れた発展を図るために実施している仕組みとして、正しいものはどれですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 経済的格差のある国同士の貿易を制限し、西ヨーロッパ諸国のみで共通通貨ユーロを使用している。
 2. イギリスが離脱した2020年以降、東ヨーロッパへの経済的支援を廃止し、各国独自の関税制度を復活させた。
 3. すべての加盟国の物価と賃金を強制的に一律にするため、共通の価格管理制度を導入している。
 4. 加盟国からの拠出金を財源とした補助金を、経済発展が遅れている地域に配分している。
- 問11 ヨーロッパ西部のロンドン周辺で見られる気候の特徴について、月ごとの統計データを確認すると、1月の平均気温が5度前後、7月の平均気温が18度前後であり、降水量は年間を通じて各月50ミリから70ミリ程度で安定しています。このような、気温の年較差が小さく、季節による降水量の変化も少ない気候区分を何といいますか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 西岸海洋性気候
 2. 温暖湿潤気候
 3. ツンドラ気候
 4. 地中海性気候
- 問12 第二次世界大戦後のドイツにおいて、資本主義陣営と社会主義陣営の対立である「冷戦」を象徴し、1989年に崩壊するまでベルリンの街を物理的に分断していた構造物について、その設置の背景や目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2015年 山口県公立入試 類似)
1. 東ドイツから西ベルリンへの人口流出を防ぎ、社会主義体制の経済的・政治的安定を図るため。
 2. 北大西洋条約機構（NATO）が、東欧諸国からの武力侵攻を直接防ぐための軍事要塞として建設したため。
 3. ナチス・ドイツの残党による反乱を阻止するため、連合国軍が共同で市街地を封鎖したため。
 4. ヨーロッパ諸国間での人や物の移動を制限し、ドイツ独自の経済圏を再構築するための関税障壁とするため。
- 問13 大西洋からヨーロッパ大陸へと吹き込む「偏西風」の性質について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 夜間は陸から海へ、日中は海から陸へと吹く向きが変化する。
 2. 一年を通して、西から東に向かって一定の方向に吹く。
 3. 赤道付近で熱せられた空気が、高緯度地域に向かって垂直に移動する流れである。
 4. 夏と冬で、大陸と海洋の気圧配置の変化により吹く向きが逆になる。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 小麦やイモ類といった主食となる穀物の生産に加え、食肉や乳製品を得るための家畜の飼育を並行して行う。	ロシアの農業は、家畜（肉・酪農）と穀物（小麦・イモ類）の両方を結びつける混合農業が一般的です。これにより、厳しい自然環境の中でも主食とタンパク質源を効率よく確保し、多様な食文化を支えています。
問2	答え 4 フィヨルドと水力発電	氷河によって形成されたU字谷に海水が入り込んだ地形はフィヨルドと呼ばれます。ノルウェーは標高の高い山脈が連なり、湖などの水資源も豊富であるため、その落差を利用した水力発電が極めて盛んです。これにより、国内の電力供給の大部分を再生可能エネルギーでまかっています。
問3	答え 4 フランス	フランスはヨーロッパで最も広い国土面積を持つ国の一つであり、パリ盆地などの広大な平原を利用した大規模な農業が盛んです。特に小麦の生産量はEU内で突出しており、他の加盟国への輸出も盛んに行われていることから、EU最大の農業国としての地位を築いています。
問4	答え 4 氷河によって深く削り取られたU字型の谷に、海水が入り込んで形成された。	フィヨルドは、かつて大陸氷河に覆われていた地域で見られる地形です。巨大な氷の塊が移動する際の強い浸食力によって地面がU字型に深く削られ、その後に氷河が溶けたり海面が上昇したりして海水が入り込むことで、奥行きのある深い湾が作られました。三陸海岸などの「リアス海岸」は、氷河ではなく川の浸食によるV字型の谷が沈水してできるため、形成の要因が異なります。
問5	答え 4 機械類や航空機、医薬品などの工業製品が輸出の大部分を担っている	フランスはEU最大の農業国としての側面を持ちますが、貿易構造においては高度な技術力を背景とした工業製品が中心です。統計によれば、機械類を筆頭に自動車や航空機、医薬品といった高付加価値な工業製品が輸出の上位を占めており、多岐にわたる工業製品を世界市場へ供給していることが特徴です。
問6	答え 4 国境を越える労働力の移動を容易にし、経済活動を活発にするため	シェンゲン協定によって国境検問を廃止した背景には、国境を越えた人々の移動をスムーズにすることで、労働力やサービスが自由に動けるようにし、ヨーロッパ全体の経済をより活性化させるという狙いがあります。一方で、国境での検査がなくなると、犯罪者やテロリストの移動、不法移民の流入といった安全保障上の課題についても議論されています。
問7	答え 3 フィヨルド	スカンディナ비아半島の西側に位置するノルウェーなどは、氷河の影響を強く受けた「フィヨルド」が発達していることで知られています。この地形は非常に水深が深く、風の影響を受けにくいため、天然の良港として利用されたり、その独特で美しい景観が観光資源として活用されたりしています。高緯度地域特有の地形であることを理解しておくことが重要です。
問8	答え 3 地中海性気候 ― オリーブ	温帯のうち、夏季に亜熱帯高圧帯の影響を受けて乾燥し、冬季に降水が見られる気候を地中海性気候と呼びます。この気候では、乾燥に強いオリーブやブドウ、柑橘類などの樹木作物の栽培が盛んに行われています。バナナは熱帯の高温多湿な環境で栽培される作物であり、西岸海洋性気候は偏西風の影響で一年を通して降水量の変化が少ない気候を指すため、夏季の乾燥という特徴には当てはまりません。
問9	答え 2 フランス	フランスは広大な平原と温暖な気候に恵まれたヨーロッパ最大の農業国です。統計データでは、生産量が国内の消費量を大幅に上回るため、穀物自給率が150%を超える非常に高い水準にあります。余剰となった農産物はEU域内や世界各地へ大量に輸出されており、輸出量が生産量の半分以上に達している点も大きな特徴です。
問10	答え 4 加盟国からの拠出金を財源とした補助金を、経済発展が遅れている地域に配分している。	EUは単一の市場として統合を深める一方で、国や地域ごとの経済的格差が課題となっています。この格差を埋めるために、各加盟国が支払う「拠出金」を主な財源として、インフラ整備や産業振興のための補助金を経済的に不利な地域へ重点的に投入しています。これにより、地域全体の底上げと統合の安定を図っています。
問11	答え 1 西岸海洋性気候	ロンドンなどヨーロッパ西部の高緯度地域では、北大西洋海流（暖流）の上空を吹く偏西風の影響を受けるため、同緯度の他の地域に比べて冬の寒さが和らぎ、気温の年較差が小さくなります。また、一年を通じて安定した降水があるのが大きな特徴です。これに対し、夏に乾燥し冬に雨が降るものは地中海性気候、季節風の影響で気温の年較差や降水量の変化が大きいものは温暖湿潤気候に分類されます。
問12	答え 1 東ドイツから西ベルリンへの人口流出を防ぎ、社会主義体制の経済的・政治的安定を図るため。	第二次世界大戦後、ソ連の占領下にあった東ドイツの中に位置するベルリンも東西に分割されました。東側から自由やより良い経済環境を求めて西側へ流出する人々が急増したため、東ドイツ政府は1961年に街を分断する壁を建設しました。この壁は、東西対立（冷戦）の象徴として知られるようになりました。
問13	答え 2 一年を通して、西から東に向かって一定の方向に吹く。	偏西風は季節風（モンスーン）とは異なり、季節によって風向きが変わることはありません。中緯度地帯において常に西から東（西風）へと吹き続けているため、大西洋の暖かな性質を一年中大陸に伝えることができます。